



さいじょう 国際交流NEWS

第23号
June 2019

目次

産業文化フェスティバル 1

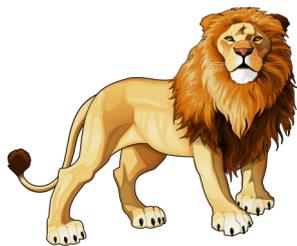
Fun Fun English 2
～英語deあそぼ!～

西条・中国親善交
流協会の紹介 2

フェスティバ
ルの報告 3

**DATES WITH
DIANA** 4

国際交流INFO 4



さいじょう国際交流NEWS

は年4回西条市国際交流協会事務局によって発行されています。ご質問・ご感想、または掲載してほしい情報がありましたら下記までご連絡ください。

第19回 産業文化フェスティバル

4月29日に西条市商店街にて産業文化フェスティバルが開催されました。国際交流ブースではAfricafe(アフリカフェ)と題し、「アフリカ」をテーマにイベントを開催し、始終大好評でした。多くのボランティアのお手伝いを頂き大成功となりました。誠にありがとうございました。



西条高校生のスタディー
ツアー報告会も実施され
ました!

カフェブースは大盛況!
アフリカのゲームの体験もでき、
子どもから大人まで皆様楽しい
時間を過ごされていました。



左:ジョンさん 右:イスマエルさん

ナイジェリアとレソトからの愛媛
大学留学生とジャンベ(アフリカ
の太鼓)ワークショップも実施され、
会場中に太鼓の音が響き
渡っていました!

東アフリカでおやつや軽食として親しま
れている「サンブサ」。400個完売。
高校生ボランティア大活躍!



＜西条英語ボランティアの会(エリス)＞

第16回Fun Fun English ～英語deあそぼ！～

3月に入り、やわらかな春風と温かな日差しの中、続々と集まってくる子どもたちに、受付で、赤、青、黄色のハチマキを手渡し、第16回FUN FUN English・えいご de あそぼ！が、スタートしました。

西条市内の小学生（来年度の新一年生も含めて）80名が、小松公民館に大集合し、市内ALTやCIRの外国の方と一緒に、グループ対抗ゲームやお菓子がゲットできるお買い物ゲームをしながら、英語に親しみました。

最初は、まだまだ英語に慣れていない子どもたちや、外国の方とお話するのを恥ずかしそうにする子どもたちが、たくさん見受けられましたが、陽気に満面の笑みで対応して下さる外国の方たちに、会場中がパワーをいただき、だんだんと発話もスムーズに！子どもらしい活発な一面も開花し、心踊る活動であったと思います。

進化していく子どもたちの、生きる力、適応力、表現力、行動力、想像力を育む、この英語活動を通して、私たちも、取り組み方を進化していくことが課題です。



という気持ちを大切に、これからも、皆さんと一緒に創り上げていく活動でありたいと考えております。



《西条・中国親善交流協会の紹介》

私たちの会では、中国との、特に西条市の友好都市である保定市との交流を長年続けてきました。

今年7月に来西予定の河北大学生との交流にも積極的に関わる予定です。

最近では毎年、有志による中国各地への視察旅行を実施しています。

- 平成26年 保定市（河北大学、第一中心医院訪問）
- 平成27年 東北地方（ハルピン～長春～瀋陽～大連～旅順）
- 平成28年 河北省、山東省（済南市、曲阜等）
- 平成29年 北京、天津、承德
- 平成30年 河南省（洛陽、少林寺等）

今年は山水画の世界と言われる桂林へ行く予定です。

旅行中の写真を紹介します。



龍門石窟（洛陽）



保定市第一中心医院訪問（平成26年）



西条市と保定市の友好記念碑（保定市）



ハルビンにて（平成27年）

＜問合せ先＞

【TEL】090-7571-7333 越智

【年会費】2,000円

【E-mail】yuezhi5danjiri@gmail.com

今回、三度目のフエ市訪問となりましたが、以前より多くのベトナムの方々と交流ができました。ハノイ市の区長さん、フエ外国語大学韓国語学科の学生さんなど、たくさんの人たちとお話できたことが、良い体験になりました。

私たち西条市のブースは、「お手玉ヨーヨーづくり」のワークショップを行い、訪れた人たちと一緒に、針を使ってお手玉作りをしました。日本人もベトナム人も同じで、上手な人もそうでない人もいましたが、皆さん興味を持ってくださいました。

今回のベトナム訪問が、以前よりも良かったと思えたのは、国際交流協会のベトナム語教室で勉強していたからです。現地の人と話してこそ、外国語の楽しさを肌で感じることができるのだと、これからの励みになりました。

アンティー先生 Xin cam on (ありがとう) (寺町 恭三)

Cà phê sữa (ミルクコーヒー)
おいしい!!!



フエ伝統工芸フェスティバル

2019



お手玉ヨーヨーワークショップ



現地スタッフとの交流



歓迎パーティーでフエ市長との乾杯



少数民族の布職人との交流



世界遺産のホイアン町での観光



紙で蓮の花を造作する職人との交流



今回、市民応援ボランティアとしてフエ伝統工芸フェスティバルに参加しました。展示ブースでのお手玉ヨーヨーのワークショップは、女性陣がお手玉の袋を縫って布の輪を縫い付け指導をし、男性陣は、ヨーヨーの実演と、お手玉の布の輪に複数の輪ゴムを付けてヨーヨーにする役でした。お手玉の袋を縫う指導が、3人の女性陣では間に合わないほどの人が来てくれ、私も久しぶりに針と糸を持ちました。

また、作務衣を着ていたためか、お客さんに頼まれ一緒に写真に入ったり、写真撮影用に用意した石鎚の話をしたり、展示している石鎚の写真集にある冬の石鎚を紹介したりしました。

初めてのベトナムでしたが、どこへ行っても日本人に対する意識の高さを感じました。ワークショップのお手玉に使う豆を市場に買いに行った時も、韓国や中国でなく、日本「ニャッパン」という声が聞こえました。西条ブースの会場でも、皆さんとても親しみを持って参加してくれ大盛況で、私たち日本人に、関心と親しみをもってくれていることを実感しました。

今回は、フエ市の皆さんからも歓迎レセプションに招待して戴いたり、開幕祭では、地元の都市の招待席を、西条のメンバーのために融通してくれたり、日本の西条から来ていることを関係者の皆さんに知られていることに感心しました。

フエ市の皆さんや、一緒に行ったメンバーの皆さんのおかげで最高の旅行ができました。機会があれば、またゆっくりと訪ねたいと思います。(近藤 浩幸)



お手玉ヨーヨーの材料の豆を
現地の市場で購入



Dates with Diana

時を止めて

「私たちは時を止めるためにコーヒーを飲む」と、トルコのお姉さんに言われました。先月トルコに旅をしてきて、トルコの文化と生活について大変勉強になりました。その中で、トルココーヒーについての会話が特に印象に残りました。

アメリカでは、コーヒーは様々な形で社会と食文化に現れますが、スターバックスのようなコーヒーの販売権の存在が普遍的で、事務会や私用のために無料の無線インターネットを利用して顧客の姿、コーヒーだと言い難い高糖分フラペチーノを楽しんでいる仲間の姿、紙のコーヒーカップを持ちながら何処かへ急いでいる人の姿は珍しくありません。

トルコでも、都会では目にする光景ですが、比較的に少ないと考えられます。伝統に従って淹れるので、トルココーヒーは、急ぐことができないそうです。トルココーヒーは時間が必要です。ですから、トルコでは時間を止めたいときにコーヒーを飲みに行く傾向があります。コーヒーを淹れるのに10分ぐらいかかります。座席に届いても細かく挽いたコーヒー豆が濾していないので、すぐに味わえないのです。まず、その粉コーヒーが雪のようにゆっくりとカップの底まで落ちるのを待たなければなりません。それが終わったら、やっとコーヒーが飲めます。トルコの男性たちは飲み終るとすぐに帰るかもしれませんが、女性たちは、まだ続きがあるので帰りません。

コーヒーを飲み終えると、占いをするためにコーヒーカップをひっくり返して、お願いをします。カップが冷めてから、中のパターンを見ながら、お互いに運勢を占います。飲み口側の模様は、私事や心の奥に秘めた感情を表

し、飲み口の反対側は、懐具合のような俗事を表します。お互いに運勢を占いますが、その占いや、占い師が解している話自体は大したものではないのです。大事なのは相手の気持ちです。

占ってもらっている人が、現在何に直面しているのか、何を体験しているのか、何を悩んでいるのが大切です。トルココーヒーの占いは、慰めるためです。希望を与えるためです。そして、会話をするきっかけとなります。同じ人間なので、どこかの部分で同じ喜びと悲しみを体験するはずなので、誰も嫌な気分にならないそうです。コーヒーで皆が一丸となって心を繋げて、現在を整理します。

しかし、なぜトルココーヒーの話をしたかったかということ、トルコのお姉さんの話を聞きながら、国際交流、異文化理解や時間の過ごし方について考えさせられたからです。トルコ語ができなくても、現地の人達と交流ができました。英語が国際語となっているからです。英語がペラペラにならなければならないとは思いませんが、やはり、英語ができれば、様々な国の方と話せるようになるので、より外国の方の事や文化を理解し、視野を広げることができます。その結果として、世界観と人生論も少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。

英語のお蔭で、今までの旅で濃い時間が過ごせたと言えます。しかし、世界中に英語のできる人が多くても、異文化を尊敬していれば、外国語を頑張って学ぼうとする必要もあると信じています。お互いに尊重するなら、自然に外国語を学びたくなるでしょう。ですから、英語を勉強している皆さんには、改めて英語を勉強している理由について考えて欲しいです。それは仕事のためでもあるし、認知症予防のためでもあるかもしれませんが、言語を勉強するのは、何よりもこれから会う外国の方と濃い時間を過ごせるためだと思いませんか。

国際交流 INFO

◆西条ファンクラブ ツアーガイド講座

西条市の魅力を市内在住外国人に伝えましょう！

ツアーでの案内方法を学ぶ講座です。

【講座日時】7月4日～8月22日の木曜日のうち6回

9時30分～11時30分

【ツアー実施日時】8月30日(金) 9時30分～16時30分

【場所】総合福祉センター、ツアー現地

【対象】高校生以上で中級～上級の英語能力がある方

【定員】8名

【申込期間】6月10日(月)～6月28日(金)

【申込先】TEL 0897-52-1206



◆外国語指導助手と一緒に料理教室で国際交流

外国語指導助手(ALT)が母国の料理を紹介します♪

英会話やゲームも一緒に楽しみましょう！

【日時】8月27日(火) 10時～14時 【場所】大町公民館

【対象】市内の小学生 【定員】20名(先着順)

【参加費】200円 【持ち物】エプロン・三角巾

【申込期限】8月16日(金)

【申込先】TEL 0897-52-1206



編集
後記

令和第1号のNEWS発行となりました！
これからも、みなさんに楽しんでいただける
ような記事にしていきたいと思えます。(伊)

国際交流NEWSスタッフ:

伊藤 広美(伊)
ダイアナ・マリー・リントン(タ)
ゲエン・ブイ・アン・ティー(ア)

フルカラーで
読める！

